

| | | |
|-------------------------|--------------|---|
| 日本キリスト改革派 大宮教会 月報 | <h1>希 望</h1> | 2018年9月 〒330-0855 さいたま市 大宮区上小町396-2 TEL・FAX 048-642-5831 |
|-------------------------|--------------|---|

「会員懇談会」を開催するにあたって

辻 幸 宏

9月23日に会員懇談会を開催いたします。この資料は、会員懇談会においても用いますので、当日もお持ちくださいますよう、お願いいたします。

懇談会の狙いは、2つあります。一つは、私が大宮教会に半年が経ちますが、礼拝(朝拝・夕拝)、祈祷会において語ってきたことを確認し、教会全体として共通認識を持って頂くことを徹底することです。第二に、これから新しい試みを行って行こうしていることを紹介し、理解して頂くことです。

I. 大宮教会の説教・祈祷会奨励で 目指すところ

一つ目の私が説教・祈祷会奨励において目指していることに関しては、夕拝や祈祷会に出席して頂いている方々にはある程度、認識されていることかと思っておりますので、重複することかと思いますが、お許しください。初めに『教会学校教案誌』第68号(2018年1～3月号)の「まえがき」において、記したことを紹介させていただきます。

『
私は長年、中部中会において、青少年のキャンプや中会全体の信徒研修会の

総括の働きを、担ってきました。こうした集会を催す時、何よりも日程と会場、テーマと講師を決めることが何よりも大切なことです。そして、準備の行程、当日のプログラム、会計、奉仕者、準備物、当日であればプログラムから離れている人はいないか等々、注意すべき事柄は、数えあげれば切りがありません。

しかし、いつでも私が心がけてきたことは、全体を見渡すということです。最終的な到着点、そして集会の全体像をデザインして、人(特に奉仕者)の動きを見ることです。つまり地図に鳥瞰図・パノラマ図があります。現代的に語ればドローンにおいて上空から全体を見渡すということです。

つまり「木を見て森を見ず」ということわざがありますが、目の前の一つひとつの出来事に集中してしまうと、周りが見えなくなってしまいます。そうしたことを避けなければなりません。総括者が、全体を見渡すことなく一つひとつの出来事に集中していると、思わぬ所でトラブルが生じた時、対処出来なくなります。全体を見渡す時、それは同時に、キャンプ等においては避けて通ることの出来ないトラブルに対しても、柔軟に対応出来るようにしておくことでもあります。

全体を見渡すことの大切さは、信徒教育、そして教会学校においても同様のことが言えるのではないのでしょうか。宗教改革

の旗印に「聖書のみ」がありますが、同時に「聖書全体」があります。つまり、聖書における神の予定と、天地創造に始まる旧約聖書の時代、救い主イエス・キリストの到来と十字架の御業、そして使徒・新約の教会の時代、現在、終末の完成の全体像を理解した上で、毎回の教会学校の礼拝があり、分級が行われます。救済史における今回の教会学校の聖書箇所的位置付けを確認することにより、語るべき目的が明確になってくるのです。だからこそ、当教案誌では、「救済史」を繰り返して学ぶことにより、「聖書全体」の理解を深めることを行っています。

そして、当教案誌のもう一つのカリキュラムとしての「カテキズム」教育も、まったく同様の狙いがあります。「聖書」の理解を、時間的な流れで理解するのが「救済史」であるのに対して、神学的な理解を求めるのが「カテキズム」となります。特に現在用いています「子どもと親のカテキズム」は、全体理解を意識して書かれているのではないのでしょうか。

最初に「はじめに 神さまと共に歩む道」との標題において、全体像を確認します。

そして「一番大切なこと」としての問1で、「私たちにとって一番大切なことは何ですか」との問いかけに対して「神さまの子どもとして、神さまと共に歩むことです」と答え、カテキズム全体の要というべき問答が語られます。そして問2・3は「第一部 信じて歩む道」（問6～41）の要約であり、問4は「第二部 教会と共に歩む道」（問42～55）の要約、問5は「第三部 感謝しつつ歩む道」（問56～97）の要約が問答されています。

このように、教案誌の「救済史」と「カテキズム」において、カリキュラムの全体像を把握することは、信徒教育、そして教会学

校における学びにおいても、非常に大切なことです。』

大宮教会では、祈祷会において、聖書全体を理解するために、旧約聖書概論を行い、毎回一書を取り上げ、その書簡において語られている狙いを聖書全体の位置付けを確認しつつ、学んでいます。

そして、夕拝においては、ウェストミンスター信仰告白の学びを行っています。これが神学的理解を確認する「カテキズム」の学びです。

このように聖書の全体像、教理の要約を理解した上で、聖書が私たちに何を語りかけているのかと、朝拝の説教において主がお語り下さる御言葉に聞いております。

II. 大宮教会における新しい試み

第二に、大宮教会においての新たな試みを紹介し、ご理解を頂きたいと願っています。①教会学校に関してと②礼拝におけるプロジェクト使用についてです。

①教会学校に関して

皆さまもご存じのとおり、大宮教会の教会学校は、礼拝後に行われております。礼拝後は、教会の皆さまとの交わりや諸集会等もあり、私自身が教会学校に直接的に関わりにくい状態となっています。しかし、教会学校は、信仰の継承を考えていく上でも大切な働きです。そのために、牧師自らが関わりを持っていきたいとの強い思いを持っています。

また同時に、教会全体において、教会学校に関心を持って頂き、子どもたちの成長を見守って頂きたい思いがあ

ります。

そのために、朝拝の中で、教会学校のメッセージ(約5分)+教会学校の讃美を1曲、行うことを、了解して頂きたいと願っています。

②プロジェクト使用について

2つめの試みは、礼拝においてプロジェクトを用いることです。つまり、礼拝における下記の要素を、プロジェクトに映し出し、前を向いて信仰告白や讃美を行うことが出来るようにしたいと思っています。

主の祈り、罪の告白、信仰告白、讃美歌、聖書

こうした新しい試みを行うことにより、礼拝全体の雰囲気も変わっていくことかと思えます。そのため、今まで親しんできた礼拝とは異なり、違和感もあるかもしれません。しかし、大宮教会に集う皆さまが一つの思いとなり、ゴールである神の国を目指して歩むために、次の世代に信仰をバトンタッチする上で大切なことを行おうとしていることに、ご理解を賜りたいと願っております。

合同役員会報告(抜粋)

開催月日 : 2018年9月2日(日)

1. 報告事項

(1) 教勢報告:8月の教勢・集会出席報告

| 集会出席報告 | 大人男 | 大人女 | 大人計 | 小児男 | 小児女 | 小児計 | 合計 |
|----------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 朝 拝 (前年比) | 7.8 +0.3 | 13.0 +0.7 | 20.8 +1.0 | 2.8 +1.8 | 3.8 +1.5 | 6.6 +3.3 | 27.4 +4.3 |
| 夕 拝 | | 休 | | | 会 | | |
| 祈 祷 会 (前年比) | 2.3 -0.1 | 2.5 +0.7 | 4.8 +0.6 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 4.8 +0.6 |

※祈祷会は、午前の「聖書の学びと祈りの会」が休会でした。

(2) 礼拝、礼典、その他儀式

- ・礼拝説教 朝拝：辻幸宏牧師(3回)、高本博純教師(8/19) 夕拝：休会
- ・聖餐式執行(8/5) 司式：辻牧師 配餐：吉村長老、福田長老 陪餐者：23名

神の永遠のご計画

天地創造

人間の創造

原福音

ノア

アブラハム

イサク

ヤコブ

ヨセフ

モーセ

出エジプト

ヨシユア

士師

ダビデ

ソロモン

帰還

ヨハネ

イエス・キリスト

十二使徒

パウロ

宗教改革

再臨

神の国の完成

生命の契約

恵みの契約

最初の罪

殺人

洪水

バベルの塔

イスラエル

エジプト下り

奴隷の四〇〇年

十戒

荒野の四〇年

約束の地

墮落

南北分裂

北イスラエル

南ユダ王国

バビロン捕囚

アッシリアに滅びる

エステル記

イザヤ・エレミヤ

哀歌・エゼキエル

ダニエル

十二小預言書

エズラ・ネヘミヤ

サムエル・列王・歴代誌

詩編

箴言・コヘレト・雅歌

レビ・民数・申命

ヨシユア記

士師記・ルツ記

出エジプト記

ヨブ記

二〇二章

三章

三15

六〇九章

一章

四福音書 (マタイ・マルコ・

ルカ・ヨハネ)

使徒言行録

パウロ書簡

ヘブライ書

ヤコブ・ヨハネ・ペトロ書

ヨハネの黙示録

誕生

宣教

十字架

現在

最後の審判と完成

創世記一章

二章

三章

三15

六〇九章

一章

二〇二章

三章

三15

六〇九章

一章

二〇二章

三章

三15

六〇九章

一章

二〇二章

三章

三15

六〇九章

一章

二〇二章

三章

三15

六〇九章

一章

二〇二章

三章

三15

六〇九章

一章

二〇二章

三章

三15

六〇九章

一章

二〇二章

三章

三15

六〇九章

一章

二〇二章

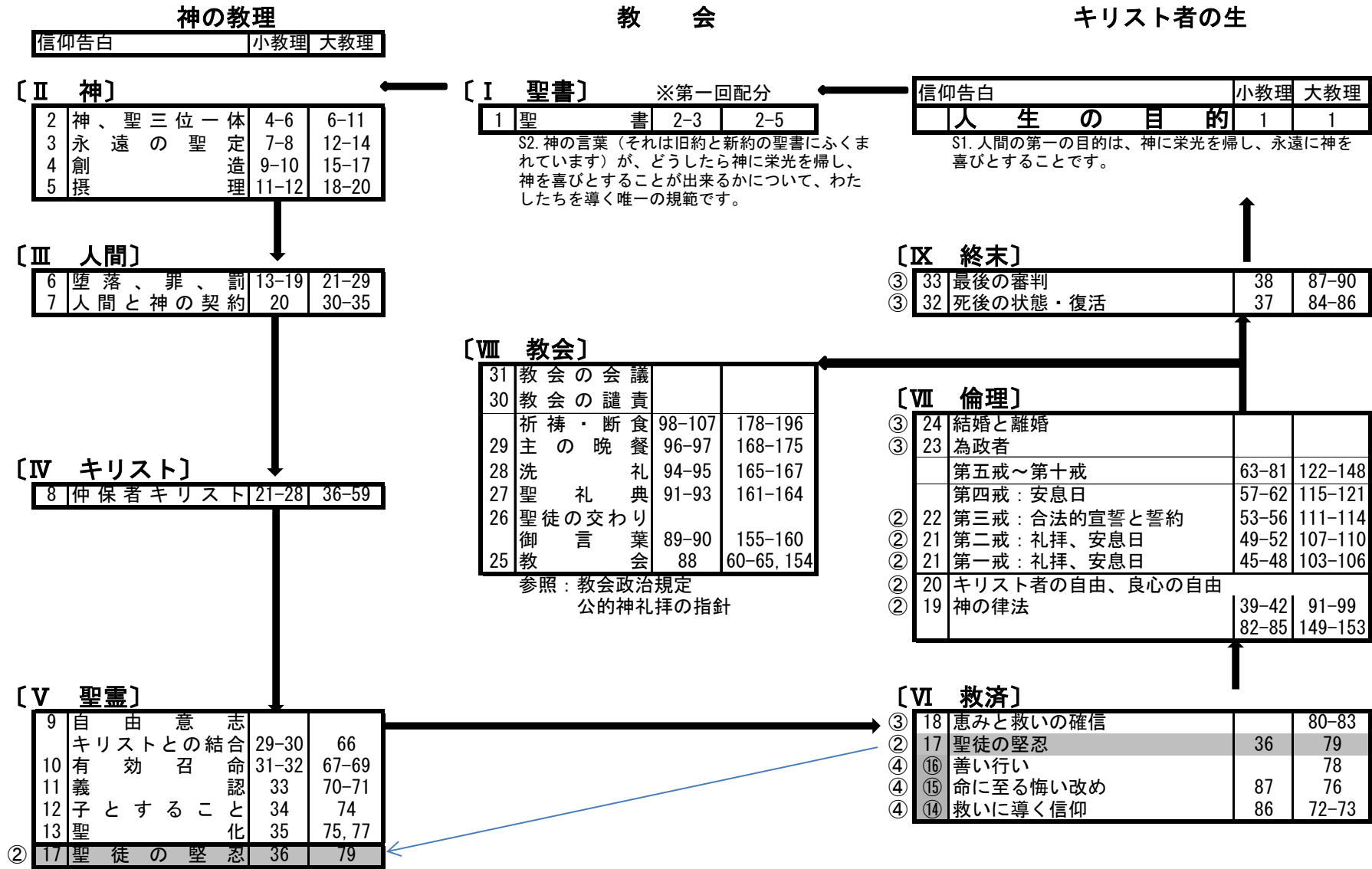
三章

三15

六〇九章

ウェストミンスター信仰規準区分

2017/9/28 辻 幸宏



第一回配分
1645年7月16日

第二回配分
1645年11月18日

② 17 第二回配分(1645. 11. 18)
③ 18 第三回配分(1646. 2. 23)
④ ⑭ 第四回配分(1646. 8. 19)